

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医療通訳 I Medical Interpreter I		1年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	<small>(医療業務・メンタルヘルスフィールド以外の学生が履修を希望する場合には事前に担当講師に相談すること)</small>	人体の構造と機能及び疾病の履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
基礎英会話、初級英会話				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堤 裕美子	講義棟 3階	月・火・木・金曜日9～18時（授業時間外）		授業中に指示します
授業の概要				
2017年、来日観光客数は2869万人で、前年度より19.3パーセント増えた。2020年の東京オリンピックの開催やネットの普及により、今後日本を訪れる海外からの観光客や、日本で生活する外国人の数が増加傾向にあると言われている。健康管理のため、または不測の体調不良で病院を訪れたものの日本語を話せない人である場合、その来院者に安心かつ安全な医療サービスを提供するのは医療通訳士である。本講義では窓口での対応から受診に付き添い診察や検査のサポートができる、英語医療通訳士の素養を育成する。				
授業の目標				
①医療通訳士として必要な基本的な知識を修得することができるようにする。 ②医療通訳士として身に付けるべき倫理観を理解し、業務に活かすことができるようにする。 ③医療通訳として、国際人として、通用する英語を習得するために発音記号を読めるようにする。 ④医療通訳士として求められる英語の専門用語を正しく発音し修得できるようにする。				
授業の方法				
授業はテキストを基に医療通訳士として働くために必要な知識を学習する講義形式の授業と、英会話テキストを基にロールプレイング形式の練習によって実践の場で通用する英会話運用能力を錬成する授業を併せて実施する。				
学習の成果（学習成果）				
①医療通訳士として必要な基本的な知識を適切に修得し、実際の業務に活かすことができる。 ②医療通訳士として備えるべき倫理観を正しく身に付け、安心を与え公平な通訳士として振る舞うことができる。 ③どんな単語でも正しく発音し自信をもって英語を運用する基盤となる発音記号の読み書きができる。 ④医療通訳士として覚えておくべき専門用語を正しく発音できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス			
第2回目	医療通訳英会話基礎学習：発音記号の学習母音1～4番			
第3回目	医療通訳英会話基礎学習：発音記号の学習母音5～16番			
第4回目	医療通訳英会話基礎学習：発音記号の学習母音17～24番 *小テスト：発音記号母音12題			
第5回目	医療通訳英会話基礎学習：発音記号の学習子音1～7番 *小テスト：発音記号母音12題			
第6回目	医療通訳英会話基礎学習：発音記号の学習子音8～16			
第7回目	医療通訳英会話基礎学習：発音記号の学習17～20 *小テスト：発音記号子音10第			
第8回目	医療通訳英会話：人体臓器の英語名称（1）身体の部分の名前			
第9回目	医療通訳英会話：人体臓器の英語名称（2）内臓の名前と機能			
第10回目	医療通訳英会話：人体臓器の英語名称（3）生殖器の名前と機能（4）骨格の名前と機能			
第11回目	医療通訳英会話：人体臓器の英語名称（5）関節に関わる名前と機能（9）リンパ節の名前と機能			
第12回目	医療通訳英会話：人体臓器の英語名称（6）皮膚に関わる名前と機能（7）筋肉に関わる名前と機能			

第13回目	医療通訳英会話：人体臓器の英語名称（8）内分泌腺の名前と機能（10）脳の名前と機能	
第14回目	医療通訳英会話：人体臓器の英語名称(11)耳の名前と機能（12）鼻・喉の名前と機能	
第15回目	医療通訳英会話：人体臓器の英語名称（13）目の名前と機能(14)歯の名前と機能	
第16回目	ガイダンス・医療通訳英会話基礎学習：英語のリズム（1）	
第17回目	医療通訳英会話基礎学習：英語のリズム（2）	
第18回目	医療通訳英会話基礎学習：発音の変化（1）	
第19回目	医療通訳英会話基礎学習：発音の変化（2）・医療通訳講義：プレセッションとC I F E（1）	
第20回目	医療通訳講義：プレセッションとC I F E（2）	
第21回目	医療通訳英会話：患者さんのプロフィールを訊く（インプットクラス）	
第22回目	医療通訳英会話：患者さんのプロフィールを訊く（アウトプットクラス）	
第23回目	医療通訳講義：患者のプロフィールを訊く（婚姻歴・家族・学歴・職歴・仕事の環境・家族の仕事）	
第24回目	医療通訳英会話：Lesson 2 診察室に患者さんを迎える（Greetings インプットクラス）	
第25回目	医療通訳英会話：Lesson 2 診察室に患者さんを迎える（Greetings アウトプットクラス）	
第26回目	医療通訳講義・英会話：Lesson 2 診察室に患者さんを迎える（Clinical Hints）	
第27回目	医療通訳英会話：Lesson 3 循環器科(Chest Pain インプットクラス）	
第28回目	医療通訳英会話：Lesson 3 循環器科(Chest Pain アウトプットクラス）	
第29回目	医療通訳講義・英会話：Lesson 3 循環器科(Vital Signs and ECG)	
第30回目	まとめと総括	
事前・事後学習	クラスで出された課題に取り組み、小テストのために復習をすること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	20%	出題者の意図に合致したものとなっている。また詳細に課題を探求し、論旨も明快で、内容構成も堅実であり、授業内容の範囲を超える本人の執筆努力が伺えるものとなっている。
調査報告書		
小テスト	20%	出題範囲を復習し、医療通訳士として活躍するための基礎知識が見に付いたことが成績に反映されている。
試験	30%	中間試験、期末試験を実施する。試験範囲、出題と実施方法は事前に詳しく説明がある。
発表内容（態度含む）	30%	専門用語の下調べ、発音記号を自主的に調べ記入するなど、授業を理解するために自主的に積極的なノートテイキングを行っているか評価する。英会話を1週間かけて暗記し、授業でロールプレイングを錬成できる。
その他		
教科書と参考図書		
「医療通訳学習テキスト」（創英社／三省堂出版）2017年 「そのまま使える医療英会話」（医学書院）2014年		
履修上の留意点・ルール		
授業中の私語を慎むこと。積み重ね学習に意欲をもって取り組むこと。英会話のアウトプットクラスの日程を把握して授業に臨むこと。		